



WATARIDORI
～渡り鳥～

ドイツからやってきた国際交流員(CIR)の
アネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文
化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中！
<https://tagawacir.wordpress.com/>

スマホ、携帯電話は
こちらから

QRコード➡



田川市国際交流ブログ



小学校入学式の習慣：Schultüte

シュールテューテ

ドイツでは、8月または9月に新学期が始まります。小学校の入学式で、子どもたちの一番の楽しみは、「Schultüte」^{シュールテューテ}をもらうことです。これは「学校袋」という意味で、「Zuckertüte」^{ツッカーテューテ}(砂糖袋)とも呼ばれています。19世紀に中央ドイツで始まり、ドイツ全域に広がった習慣です。三角帽子形の紙袋で、中には子どもたちの親が用意したプレゼントが入っています。学校袋を手作りで用意することもあります。デパートや文房具店などで購入するケースも珍しくありません。子どもたちは、それぞれの学校袋を入学式の時にもらい、家に帰ってから、家族に囲まれて学校袋を開けます。お菓子やおもちゃ、学校で使う文房具など、愛情のこもった贈り物に子どもたちは大喜び。その後、家族はケーキを食べながら、学校生活の始まりを祝います。学校袋の習慣があるから、子どもたちは初めての登校日を不安な気持ちではなく、楽しみに待つことができるのです。



今日の言葉

シュールテューテ
Schultüte
(学校袋)